



議員 谷 実 員  
竹 議

質問 繁殖牛の増頭対策について

平成25年3月定例会と6月定例会の一般質問で回答いただいている繁殖牛の増頭対策について、現在効果が現れておらず、むしろ減少傾向にあるため、現状をどのように考えるのか、効果が見えない理由は、また、増頭意欲の出るような新たな支援の考えを伺う。

回答 町長

本町の繁殖牛の飼養頭数は、平成27年2月1日現在で591頭、前年比0.6%の微減となっている。

最近の特徴としては、農家戸数は減少傾向である一方、多頭飼育や企業参入といった動きもあり、1農家あたりの飼養頭数は増加傾向にある。

こうした状況の中、新規就農者として事業開始されているケースも見られ、今年度は1名の方が新規で就農し、今後、更に1名の就農が見込まれているところである。

本町の畜産形態は、公共牧野を活用した低コスト生産と省力経営が可能な管理形態で新規就農者にとっては、魅力的な面もある一方、初期投資が大きく、就農後すぐに

収入に結びつかない等の課題もある。

こうしたことから、新規就農者への初期投資に対する支援の充実、就業後の一定所得の補償、飼料購入の海上輸送費助成、町有牛の貸付制度の見直し等を主な内容として支援の拡充を図るほか、牧野整備、管理用道路の早期完成等に取り組んで行くこととしている。

また、今年度は地方創生先行型交付金事業で、新規就農者向けの支援策として、牛舎の無料貸与、導入牛に対する助成により、初期投資の軽減を図る支援も盛り込んだところである。

今後も畜産農家の高齢化による減少は避けられないことから、本町の畜産業の振興を図っていくためにも新規就農者の確保を優先課題として取り組んで行く。これまで色々と良い制度がありながら、周知の面で情報発信が十分なされていなかったことから、本町の畜産形態の低コスト、省力経営といったメリットや各種支援制度に関する情報等をホームページやUターンフェア、農業大学校、総合誌等を活用して、本町の畜産業の魅力を町内外に発信し、畜産振興に繋げて行く。

議会活動日誌

2月	1月	12月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者選定委員会</li> <li>・島前町村組合議会臨時会</li> <li>・隠岐広域連合議会全員協議会</li> <li>・西ノ島町議会臨時会</li> <li>・隠岐広域連合議会定例会</li> <li>・例月出納検査</li> <li>・竹島の日記念式典</li> <li>・竹島問題を語る国民交流会</li> <li>・島根県町村議会議長会定期総会</li> <li>・町議会運営委員会</li> <li>・町議会全員協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西ノ島町消防団出初式</li> <li>・町議会広報調査特別委員会</li> <li>・隠岐島前森林復興公社臨時理事会</li> <li>・例月出納検査</li> <li>・西ノ島町コミュニティー図書館構想検討委員会</li> <li>・隠岐広域連合議会運営委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興奨励審査会</li> <li>・町議会運営委員会</li> <li>・町議会全員協議会</li> <li>・例月出納検査</li> <li>・町議会12月定例会</li> <li>・隠岐広域連合議会臨時会</li> <li>・町議会臨時会</li> <li>・町議会全員協議会</li> </ul>

西ノ島町議会 広報調査特別委員会

木下良一氏に旭日単光章

平成27年11月15日に逝去された元町議会議員の木下良一氏に叙勲として旭日単光章が授与されました。

氏は、昭和60年に西ノ島町議会議員に初当選し、以来12年間の長きにわたり、町議会議員として精励され、本町の発展にご尽力されました。

議会では、総務厚生常任委員会委員長や産業建設常任委員会副委員長、決算審査特別委員会委員長など数々の要職を歴任し、不断の熱意と卓越した識見をもって地方自治の伸展、産業振興等、地域振興に大きく貢献いたしました。

また、選挙管理委員会委員長を長年に亘り歴任し、その誠実な人柄と、豊富な知識を以って、選挙管理事務従事者の指揮指導に当たり、非の打ちようのない選挙事務を執り行つてまいりました。

今回の受章は、氏のこのような功績が認められたものです。

長年に亘るご尽力に敬意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



▲写真⑥は代理の木下正道さん

## 島を結び、絆を深める能楽公演

2月21日（日）ノアホールで能楽公演を開催しました。

公演を主催した山本能楽堂（大阪市）は、これまで屋久島、小豆島で公演を行ってきました。

そして、今回の公演は西ノ島町。文字通り、「島を結び、絆を深める能楽公演」です。

はじめは、町内から集まっていた皆さんでワークショップを行い、イカをイメージした老松おいまつ（能舞台の鏡板に描くもの。）を作成しました。

この老松を舞台の背景に置き、いよいよ公演のはじまりです。

上演されたのは、水を大切に作る気持ちで世界をつなぐことができたらという願いを込めて製作された、新作能「水の輪」です。

能楽はユネスコ世界無形遺産にも登録された芸術です。

鑑賞に来られた皆さんは普段、生で観ることのできない伝統文化の芸術を堪能されていました。



老松を作成する皆さん（ワークショップ）



新作能「水の輪」

### ★ふるさと子ども体験隊★

## おもちつきをしよう！



中央公民館では、1月に児童・保護者・ボランティアの方、計19名でお餅つきをしました。

今回参加してくれた子どもたちはこれまでもお餅つきを体験したことがあり、最初はお手伝いに来てくれたお兄さん、地域おこし協力隊のお姉さんが杵をおろすタイミングに合わせ「よいしょー！よいしょー！」と声援を送り、その後は子どもたちも順番にお餅つきを行いました。出来たお餅は保護者さんやボランティアさんに手伝ってもらいながら丸め、中にはドクエのスロイムの形をしたものや、ハートやハンバーガーといった面白い形や大小さまざまな丸餅(?)を作りました。

大人に負けない数のお餅を食べる子どももいて「お腹壊さないかな・・・」と心配しましたが、元気良く帰っていく子どもたちを見送り今年度のふるさと体験隊は無事終了しました。

雪がちらつく中での開催でしたが、たのしいお餅つき体験ができた1日でした。

たくさんの児童・保護者の方々にご参加いただき、とても明るく楽しいふるさと体験隊の活動を行うことが出来ました。ご協力くださいました地域の皆さま、保護者の皆さま、この場を借りて御礼申し上げます。



ふるさと子ども体験隊では、自然や食文化などをテーマに、ふるさとの良さを体験できるような活動を計画しています。来年度も色々な体験活動を行いますので、ぜひ子ども達と一緒に参加してください！おいしいちゃん、おばあちゃんの参加もお待ちしております。（中央公民館）